

【 教職課程 】

【 教科および教科の指導法に関する科目 】

・ソルフェージュ、 声楽、 器楽、 指揮法、 音楽理論・作曲法

各教科の指導法

【 教育の基礎的理解に関する科目等 】

＜教育実践に関する科目＞

教育実習Ⅰ・Ⅱ

教職実践演習（中・高）

教育実習事前・事後指導

＜教育の基礎的理解に関する科目＞

教師・教職論

発達と学習の心理学

教育の基礎と実践

教育の法制と経営

特別支援教育

＜道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目＞

道徳教育論

特別活動論

教育の方法と技術

生徒指導論

総合的な学習の時間の指導法
および教育課程論

教育と倫理

教育相談

教育の情報技術論

キャリア教育論

＜介護等体験＞

介護等体験

＜施行規則66条の6に定める科目＞

健康と運動の科学

英語会話Ⅰ・Ⅱ
イタリア語会話Ⅰ・Ⅱ
ドイツ語会話Ⅰ・Ⅱ
フランス語会話Ⅰ・Ⅱ

DTM入門

日本国憲法

スポーツとエクササイズⅠ・Ⅱ

4年次

3年次

2年次

1年次

ソルフェージュⅢ～Ⅷ

合唱Ⅲ～Ⅷ

声楽実技Ⅰ～Ⅷ

器楽実技・合奏・アンサンブルⅠ～Ⅷ（鍵盤・管楽・弦楽・打楽・邦楽・ジャズ）

合奏

ピアノ伴奏法Ⅰ・Ⅱ

楽器研究

リコーダー合奏

邦楽器実習

指揮法Ⅰ・Ⅱ

日本東洋音楽研究

作編曲法

和声法Ⅰ・Ⅱ

楽式論

西洋音楽史Ⅰ・Ⅱ

和声法Ⅲ・Ⅳ、楽曲分析、対位法Ⅰ・Ⅱ、日本音楽の歴史、音楽教育の課題、音楽教育の方法、音楽教育演習Ⅰ・Ⅱ、音楽学の課題、音楽学の方法、音楽学演習、音楽の基礎、作曲研究Ⅰ～Ⅷ、創作理論演習Ⅰ～Ⅷ、音楽制作演習Ⅰ～Ⅷ、など

音楽科教育法Ⅲ・Ⅳ

音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ

1. 教員養成の目標

「高度な専門性を有し、音楽の普及と発展に貢献する使命を自らに任じ、社会に実りと潤いをもたらす音楽を目標とし、且つ手段として用いながら教育に携わる人材の育成を目指します。教育に対する明確な目標を個人の中に確立し、それを貫く強さを育みます。」

2. 音楽学部音楽学科が目指す教師像

建学の精神である親鸞聖人の同朋和敬の精神、「共なるいのちを生きる」に基づき、音楽を用いてお互いの差異を認めつつ、協和する方法を探し、提案できる教師を目指します。そのために、一、生徒個々の主体性を尊重しつつ、個人相互の関係を調整するために、教員が身につけた音楽的知識や技術が役立つように、音楽を「手段として」駆使できること、二、共に学ぶ仲間の可能性を認めつつ、人と人とを繋ぐ絆を提供できるような音楽を「目標として」設定できること、この二つを可能にする教員の養成を目指します